
第5回 手稻山口地域協議会

【日時】 令和4年12月11日（日）13:00～
【会場】 山口処理場管理棟 会議室



次 第

1 開 会

2 参加者確認

3 工事の現状と今後の見通しについて

4 報告事項等

5 今後の地域づくりについて

(1) オリエンテーション

- 1 地域協議会の役割
- 2 令和4年度の進め方
- 3 前回までの振り返り
- 4 本日の話し合い

(2) グループワーク

- ・手稻山口地区の地域づくりと今後の取組についての意見交換

(3) 全体共有とまとめ

- ・各グループのご意見紹介と次回の進め方

6 その他

7 閉会

手稲山口地域協議会 規約

(名 称)

第1条 この会は、手稲山口地域協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、手稲山口地区の北海道新幹線トンネル発生土受入地（以下「発生土受入地」という。）への発生土の受入にあたり、工事の安全性の確認とともに、地域課題の共有を図り、住民同士の意見交換やそれに基づく活動を通じて地域の活性化に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 発生土受入地における工事状況の確認
- (2) 発生土受入地の盛土工事完了後の跡地利用の検討
- (3) 手稲山口地区の地域振興のための課題の共有
- (4) 協議会の活動内容の情報発信
- (5) その他協議会目的の達成のために必要な活動

(組 織)

第4条 協議会は、次の者の中から、山口西町内会、山口東町内会が推薦する者をもって構成する。

- (1) 山口西町内会、山口東町内会の区域に居住する者
- (2) 山口西町内会、山口東町内会の区域内で農業、事業等を営む者
- (3) 山口西町内会、山口東町内会の区域内の学校、病院、事業所等に勤務する者

(情報発信)

第5条 協議会の活動結果の概要については、意見の発言者などが特定されない形式で、広く公表することとする。

(事務局)

第6条 事務局は、札幌市新幹線推進室及び鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局が担う。

(その他)

第7条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会で定める。

附 則

- 1 この規約は、令和3年12月5日から施行する。

手稲山口受入地の工事進捗と今後の予定について

平素から、北海道新幹線事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。手稲山口受入地工事の進捗状況と今後の予定についてお知らせいたします。

○工事の進捗状況と今後の予定について

冬期間の工事について、引き続きトンネル発生土（対策土）の受入れ及び遮水壁の施工を行ってまいります。なお、地盤改良及び遮水シートの施工は来春まで休工いたします。



受入地全景（北東側から南西側を望む）（令和4年11月）



遮水壁施工状況（令和4年11月）

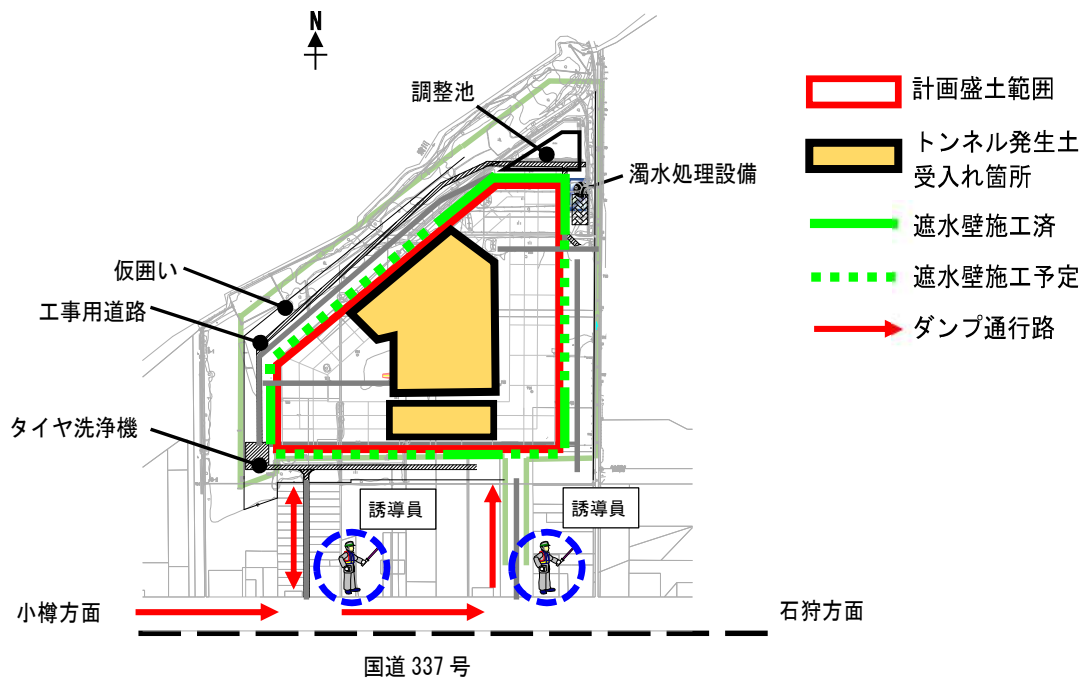
令和5年3月までの主な作業

	12月	1月	2月	3月
地盤改良	来春まで休工			
遮水シート	来春まで休工			
トンネル発生土受入れ				
遮水壁工				

○安全・環境対策

冬期間のトンネル発生土を搬入するダンプトラックの台数は、1日最大300台程度を予定しております。また、遮水壁などの資材を運搬するため、大型車両の通行も予定しております。当面の間、トンネル発生土を運搬するダンプトラックと合わせて1日で最大400台程度の通行が見込まれます。工事用道路出入口には誘導員を配置するとともに、車両の運転者に対して「歩行者・一般車両最優先」を教育し、特に工事用道路からの出入りの際には一般車両最優先を徹底し、引き続き安全に十分配慮します。

（裏面に続きます）



ダンプトラック荷台シート被覆状況



タイヤ洗浄状況

トンネル発生土を運搬するダンプトラックは、荷台をシートで覆い、運搬時の飛散防止に努めるとともに、受入地から出る際には、タイヤ洗浄機でタイヤをきれいにし、公道に受入地の土を運び出さない対策を徹底しております。

工事の進捗に関しては定期的にお知らせします。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

○水質モニタリング

令和4年8月から令和4年11月までの水質調査結果では、地下水⑤、河川水R①、河川水R②の3箇所で基準値を超過しました。地下水⑤の採取地点は、地下水の流れから受入地より上流側に位置しており、ヒ素の基準値超過は、ヒ素を含む土壌が広く分布している札幌市の地域特性に起因したものであると考えられます。

河川水R①及びR②は、トンネル発生土受入前の令和3年7月及び9月の水質調査において、ヒ素の基準値超過を確認しており、地下水⑤と同様に地域特性に起因したものと考えております。引き続き、水質モニタリングを継続し、環境への影響を注視してまいります。



ヒ素検出状況

(単位 mg/L)

採取地点名	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11
地下水①	0.005	0.006	0.008	0.008
地下水②	0.007	0.007	0.006	0.006
地下水③	0.005	0.009	0.005	0.006
地下水④	0.002	0.002	0.003	0.003
地下水⑤	0.011	0.012	0.013	0.015
地下水⑥	0.005	0.005	0.005	0.007
河川水R①	0.010	0.014	0.017	0.005
河川水R②	0.009	0.013	0.016	0.010
河川水R③	0.001	0.001	0.001	0.001
	未満	未満	未満	

基準値 0.01mg/L 以下

○粉じんモニタリング

令和3年12月1日から受入地と星置地区センターの2地点で粉じんモニタリングを実施しております。令和4年5月末から、粉じん防止剤の散布等の粉じん防止対策を強化し、6月以降の測定値は受入れ前と同程度で推移しております。来春以降も粉じん防止剤の散布等の粉じん対策を引き続き実施してまいります。

総粉じん濃度 (単位 mg/m3)

採取地点名	R3. 2	R3. 4	R3. 6	R3. 12 前半	R4. 8 前半	R4. 8 後半	R4. 9 前半	R4. 9 後半	R4. 10 前半	R4. 10 後半
受入地	0.016	0.032	0.025	0.026	0.025	0.024	0.035	0.027	0.029	0.026
星置地区	—	—	0.024	0.021	0.019	0.019	0.024	0.023	0.024	0.025

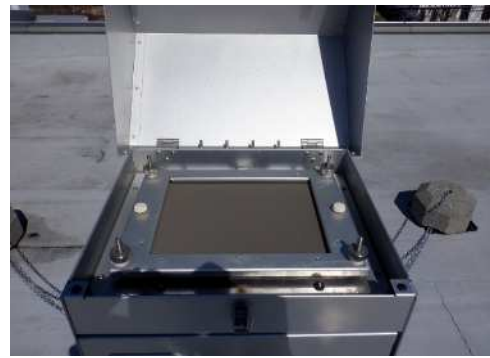
← 受入れ前
→ 受入れ後

※総粉じん濃度とは、測定期間中に粉じん測定器で吸引して集めた粉じん量を体積で割って算出したものです。測定期間中の体積 1m3 の中にある粉じん量です。

(裏面に続きます)



粉じん測定位置



粉じん測定器（星置地区）

今後も適切に工事を行うとともに、水質及び粉じんモニタリングを継続することにより地域環境の保全に努めてまいります。

【工事に関するお問合せ先】

鹿島・岩田地崎・荒井・森川

北海道新幹線、札幌トンネル（星置）特定建設工事共同企業体

電話：011-590-1375 （担当：新明（しんみょう）・桜井）

手稻山口

地域づくりに向けて

地域協議会

第5回

2022年12月11日（日）

13:00～

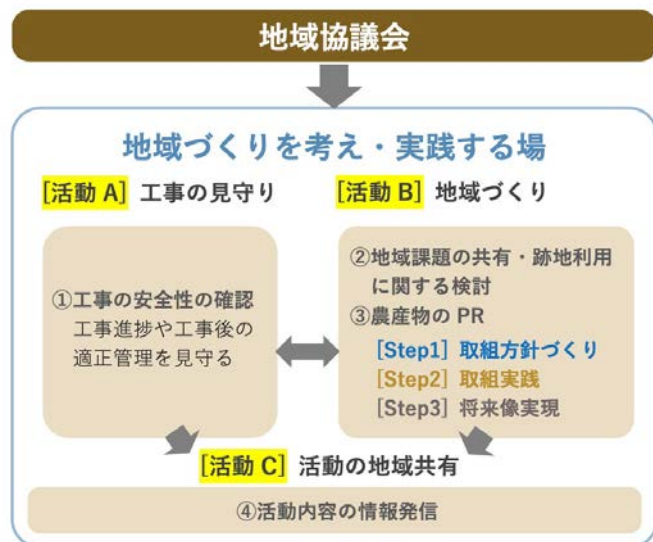
山口処理場管理棟 会議室

オリエンテーション

- 1 地域協議会の役割
- 2 令和4年度の進め方
- 3 前回までの振り返り
- 4 本日の話し合い

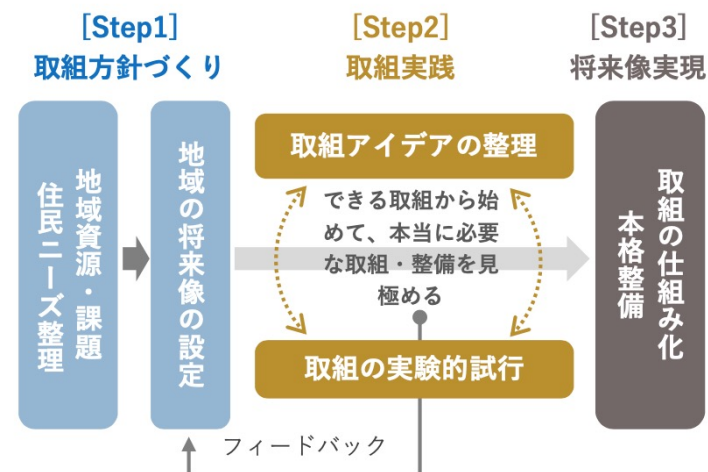
1 地域協議会の役割

地域協議会の取組イメージ



1 地域協議会の役割

地域づくりのステップの例



2 令和4年度の進め方

6月 第3回協議会 ・手稲山口地区の魅力資源や課題の確認

10月 第4回協議会 ・地域づくりの方向性の確認

本日の話し合い

12月 第5回協議会 ・地域づくりの方向性と今後の取組の確認

2月 第6回協議会 ・令和4年度のまとめ（手稲山口地区の将来像）
・これからの取組

※各協議会開催1ヶ月後を目処にニュースレターを発行

3 前回までの振り返り

いただいたご意見（魅力資源と検討課題）	地域づくりの方向性（案）
大浜みやこ、サッポロスイカなどの農産物は格別の美味しさ	手稲山口にしかない、 地域産業 がある。 →産業の価値を高める
農家の直売所では新鮮な農産物を手ごろな値段で提供	
寒暖差がありおいしい農産物が育つ	
ブランド農産物の進化	手稲山口にしかない、 文化 がある。 →大事な文化を継承する
郷土芸能の風雪太鼓は札幌市内外からも演奏依頼がある	
風雪太鼓の練習場所山口クラブの老朽化への対応	手稲山口にしかない、 恵まれた土壌 がある。 →将来の土地利用を考える
農業振興地域の指定による土地利用の制限	
道の駅等の整備の検討	
山口緑地西パークゴルフ場の老朽化	産業・文化・土壌を支える人がいる。 →地域の担い手を育てる
農家の担い手づくり	
若い人たちに地域づくりについて意見を聞きたい	

■：検討課題

3 前回までの振り返り

手稲山口地域協議会だより Vol.4

第4回地域協議会を開催しました！

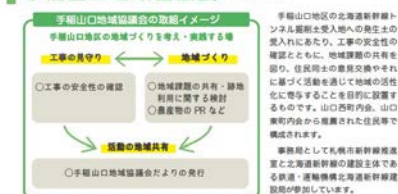
10月1日(土)に開催した第4回協議会では、鉄道・道路整備から、受入地の工事状況とこれまでのご意見への対応、今後の予定などについて話し合いました。その際、参加者を各グループに分けて、今後の地域づくりについて意見交換をしました。また、トンネル掘削受入地の活用方法についてもご意見をいただきました。



- 話し合いの内容
- 1 工事の現状と今後の見通し
 - 2 前々までの協議会で話し合った課題への対応
 - 3 今後の地域づくりに向けた意見交換
 - 4 各グループのご意見交換



手稲山口地域協議会について



● 第4回 地域協議会の主なご意見

1 工事の現状と今後の見通し

- Q 掘削工場の稼働台数が今後増えるようですが、国道337号が渋滞することはありますか。
- A 渋滞が発生しないよう、受入地への工事用の進入道路を拡充しています。
- Q 掘削工場の稼働台数は今後増えると思いますが、国道337号が渋滞することはありますか。
- A 掘削工場の稼働台数は今後増えると思いますが、国道337号が渋滞することはありますか。
- Q 掘削工場の稼働台数は今後増えると思いますが、国道337号が渋滞することはありますか。
- A 掘削工場の稼働台数は今後増えると思いますが、国道337号が渋滞することはありますか。

2 前回の協議会を受けたご報告

「パークゴルフ場コースについては、トイレの洋式化、景観美化を今後年度に対応する予定です。

3 今後の地域づくりに向けた意見交換

- 「地域産業」「文化」「土地利用」「担い手」の4つの観点から地域づくりの方向性を話し合いました。
- 「地産地消」の観点から地域づくりの方向性を話し合いました。
- 「地産地消」の観点から地域づくりの方向性を話し合いました。
- 「地産地消」の観点から地域づくりの方向性を話し合いました。
- 「地産地消」の観点から地域づくりの方向性を話し合いました。

● 今後の開催予定



【お問い合わせ】札幌市まちづくり推進新幹線建設推進室
〒060-0811 札幌市中央区南1条西5丁目1番1号 TEL: 011-231-2378 FAX: 011-238-9112

3 前回までの振り返り

3 今後の地域づくりに向けた意見交換

「地域産業」「文化」「土地利用」「担い手」の4つの観点から地域づくりの方向性を話し合いました

- ・地元企業の1つである小樽カントリー倶楽部は国内有数の名門コースとして全国からプレイヤーも集まる。今後連携して取り組んでいけると良いのでは。
- ・将来の土地の活用について、交通の利便性からもトイレを含む休憩の場、風雪太鼓など地域活動の場、農産物の販売等の場として、道の駅のような文化や産業を支える拠点があると良いのでは。
- ・農業振興地域の今後のあり方についても検討してはどうか。
- ・ブランド野菜は地域の強みだが、後継者不足や肥料の高騰などにより、今後も守っていくのが心配。
- ・地域づくりを誰がやるのか、誰が動くのか、実際の担い手をどうするか1番の課題。

受入地の活用のあり方について意見交換をしました

- ・受入地は芝生等に使い方が限定されることもあり、隣接する小樽カントリー倶楽部と連携し、子どものゴルフ教室や、近隣住民も利用できるようなゴルフ練習場として活用するのが良いのではないかと。
- ・その際、メンテナンス等で協力を得て、景観の良い場所にしていくのではないかと。
- ・小樽カントリー倶楽部の集客力を生かして、手稲山口地区の農産物を知ってもらう機会を作れるのではないかと。
- ・受入地の高さをいかして、津波などの場合の地域防災に役立つ場所にできるのではないかと。

4 本日の話し合い

前回までのご意見をもとに、地域づくりの方向性と今後の取組について整理しました

地域づくりの方向性	取組方針	地域の取組例（案） ●時間をかけて検討が必要な取組 ・すぐに始められそうな取組
産業の価値を高める	都市近郊地域の農業の魅力やブランド農産物の魅力を発信していこう！	<ul style="list-style-type: none"> ●常設の直売所・農業体験・加工施設等の設置・運営 ・既存の直売所や農産物の販売情報の発信（マップ・SNS等） ・仮設の施設でマルシェなどのイベント ・農業体験のイベント ●大学との連携による、農業のデジタル化研究 ・連携に向けて、大学や研究室へのアプローチ
大事な文化を継承する	風雪太鼓を多くの人に知ってもらい、継承していこう！	<ul style="list-style-type: none"> ●練習場所や発表の場の充実
将来の土地利用を考える	豊かな農地を守りながら、地域の現状に合わせた土地利用を考えていこう！	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に必要な土地利用の検討 ・耕作放棄地等の現状把握 ・土地利用の学びを深める勉強会
地域の担い手を育てる	大切な産業や文化を将来に受け継いでいくため、新しい仲間を増やしていこう！	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくりの連携先・仲間づくり ・新しい担い手の発掘とアプローチ ・地域の企業や学校等連携先の発掘とアプローチ ・新しい担い手や連携先との意見交換会 ●農業の担い手づくり ・学生アルバイトやインターンの受け入れ ・事例の勉強会・見学会

4 本日の話し合い



4 本日の話し合い

前回までのご意見や参考事例をもとに、2つのグループに分かれて意見交換を行います。皆さんのご意見をいろいろ教えてください！

①自己紹介

皆さんのことを教えてください！

②地域づくりの方向性と今後の取組についての意見交換

今後の取組について、皆さんのご意見を教えてください！

4 本日の話し合い

前回までのご意見をもとに、地域づくりの方向性と今後の取組について整理しました

地域づくりの方向性	取組方針	地域の取組例（案） ●時間をかけて検討が必要な取組 ・すぐに始められそうな取組
産業の価値を高める	都市近郊地域の農業の魅力やブランド農産物の魅力を発信していこう！	<ul style="list-style-type: none"> ●常設の直売所・農業体験・加工施設等の設置・運営 ・既存の直売所や農産物の販売情報の発信（マップ・SNS等） ・仮設の施設でマルシェなどのイベント ・農業体験のイベント ●大学との連携による、農業のデジタル化研究 ・連携に向けて、大学や研究室へのアプローチ
大事な文化を継承する	風雪太鼓を多くの人に知ってもらい、継承していこう！	<ul style="list-style-type: none"> ●練習場所や発表の場の充実
将来の土地利用を考える	豊かな農地を守りながら、地域の現状に合わせた土地利用を考えていこう！	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に必要な土地利用の検討 ・耕作放棄地等の現状把握 ・土地利用の学びを深める勉強会
地域の担い手を育てる	大切な産業や文化を将来に受け継いでいくため、新しい仲間を増やしていこう！	<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくりの連携先・仲間づくり ・新しい担い手の発掘とアプローチ ・地域の企業や学校等連携先の発掘とアプローチ ・新しい担い手や連携先との意見交換会 ●農業の担い手づくり ・学生アルバイトやインターンの受け入れ ・事例の勉強会・見学会